

杉並区議会における陳情・請願の審査率について

2023年3月29日
日本共産党杉並区議団 富田たく

◆杉並区議会の陳情・請願審査率（2019(R01)年度～2023(R04)年度）

No.	議会	2019(R01)年度～2023(R04)年度		
		件数	審査件数	審査率
1	杉並区議会	171	50	29%

【会派について】正式名称と人数は次の通り。自杉／自由民主党杉並区議団(9)、自民／杉並区議会自由民主党(6)、公明／杉並区議会公明党(7)、共産／日本共産党杉並区議団(6)、立無／立憲民主党・無所属クラブ(4)、平和／いのち・平和クラブ(4)、無維／自民・無所属・維新クラブ(4)。2021年度以前の自民は15名、2022年度に自杉9名と自民6名に分れた。

◆2022(R04)年度 杉並区議会 各委員会の陳情・請願の審査率

No.	委員会名 (陳情請願が付託された委員会のみ表示)	2022(R04)年度			
		委員長	件数	審査件数	審査率
1	総務財政委員会	今井ひろし 自杉	56	2	4%
2	区民生活委員会	浅井くにお 自杉	6	0	0%
3	保健福祉委員会	大槻城一 公明	19	4	21%
4	都市環境委員会	富田たく 共産	15	15	100%
5	文教委員会	國崎たかし 自民	9	0	0%
6	災害対策・防犯等特別委員会	そね文子 平和	1	0	0%
7	道路交通対策特別委員会	川野たかあき 立無	1	0	0%
8	議会運営委員会	大泉やすまさ 自杉	35	0	0%
年度合計			142	21	15%

◆2020(R02)年度 杉並区議会 各委員会の陳情・請願の審査率

No.	委員会名 (陳情請願が付託された委員会のみ表示)	2020(R02)年度			
		委員長	件数	審査件数	審査率
1	総務財政委員会	大泉やすまさ 自民	34	2	6%
2	区民生活委員会	安斉あきら 自民	8	2	25%
3	保健福祉委員会	北明範 公明	11	0	0%
4	都市環境委員会	井原太一 自民	6	0	0%
5	文教委員会	川野たかあき 立無	3	1	33%
6	災害対策・防犯等特別委員会	金子けんたろう 共産	1	0	0%
7	道路交通対策特別委員会	岩田いくま 無維	3	1	33%
8	議会運営委員会	大和田伸 自民	26	0	0%
年度合計			92	6	7%

※災害対策の陳情1件については、金子委員長が審査を行ったが、継続審査となったため審査件数は0件とした。

◆2021(R03)年度 杉並区議会 各委員会の陳情・請願の審査率

No.	委員会名 (陳情請願が付託された委員会のみ表示)	2021(R03)年度			
		委員長	件数	審査件数	審査率
1	総務財政委員会	浅井くにお 自民	44	2	5%
2	区民生活委員会	富田たく 共産	11	11	100%
3	保健福祉委員会	安斉あきら 自民	17	1	6%
4	都市環境委員会	中村康弘 公明	9	2	22%
5	文教委員会	脇坂たつや 自民	7	1	14%
6	災害対策・防犯等特別委員会	山本あけみ 立無	1	0	0%
7	道路交通対策特別委員会	藤本なおや 無維	2	1	50%
8	議会運営委員会	大泉やすまさ 自民	28	0	0%
年度合計			119	18	15%

※保健福祉委員会の審査1件は、審査を行わずに委員長判断で「みなし不採択」としたものの。

◆2019(R01)年度 杉並区議会 各委員会の陳情・請願の審査率

No.	委員会名 (陳情請願が付託された委員会のみ表示)	2019(R01)年度			
		委員長	件数	審査件数	審査率
1	総務財政委員会	小川宗次郎 自民	23	3	13%
2	区民生活委員会	脇坂たつや 自民	3	0	0%
3	保健福祉委員会	浅井くにお 自民	6	1	17%
4	都市環境委員会	川原口宏之 公明	3	0	0%
5	文教委員会	山本あけみ 立無	1	1	100%
6	災害対策・防犯等特別委員会	富田たく 共産	0	0	0%
7	道路交通対策特別委員会	吉田あい 自民	2	0	0%
8	議会運営委員会	大和田伸 自民	12	0	0%
年度合計			50	5	10%

◆二つの委員会で全ての陳情を審査

私・富田たくは、2021度は区民生活委員会、2022度は都市環境委員会の委員長を任され、両委員会に付託された計26件の陳情・請願（以下陳情という）を全て委員会で取り上げ、2年連続で審査率100%を達成しました。

2021年度、区議会全体で119件の陳情のうち、審査されたのは18件で審査率は15%です。私が区民生活委員会で審査したのが11件ですので、全体の6割以上に及びます。同様に2022年度は、区議会全体の陳情142件のうち審査されたのは21件で審査率は15%。そのうち私が都市環境委員会で審査したのが15件ですので、全体の7割以上です。

今議員任期の4年間では、区議会全体での審査件数は50件ですが、その内私が2年間で審査したのが26件ですので、杉並区議会で審査された陳情件数の半数以上となります。

◆審査率は3割以下、121件が審査未了

この4年間で杉並区議会に提出された陳情171件のうち議会で審査されたのはたったの50件。審査率は29%と極めて低く、多くの区民の声が取上げられず、大変問題のある議会運営が続いています。

審査されなかった陳情は、区議会議員選挙が行われると審査未了と

され、新しい議会へは継続されません。結果的に、121件の陳情が審査されずに、破棄されることとなります。

陳情を委員会で取り上げるかどうかは、委員長の判断に任されています。そのため、陳情審査に後ろ向きな議員が委員長になると、全く審査されずに1年間の委員長任期を終了することも少なくありません。

◆除外ではなく真摯に審査を

陳情審査をほとんど行わない議員からは『区議会の審査に馴染まない陳情があるため審査が行えない』、『審査率をあげるためには、除外基準を設けるべき』との主張もあります。しかし、除外基準を設けることは、一部の陳情が恣意的に排除される危険性もあり、慎重な議論が必要です。

そもそも、除外基準がなくとも委員長の姿勢で、全ての陳情を審査する事が可能だということは私の2年間の委員会運営で証明されました。

陳情審査を行わない議員は、除外基準の未整備を言い訳にするのではなく、議会に提出された区民の声である「陳情・請願」に真摯に向き合い、委員会で取上げるべきではないでしょうか。

以上